

事務事業名		越喜来診療所運営事業		☒ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業								
政策体系	政策名	04: 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目								
	施策名	17: 生涯にわたる健康づくりの推進				会計	款	項	目	事業				
	基本事業名	02: 地域医療体制の充実		☐ 単年度のみ	14	01	01	01	02					
根拠法令			☒ 単年度繰返 (開始 平成13 年度～)											
所属	部課名	生活福祉部国保年金課		☐ 期間限定複数年度 〔計画期間〕						02	01	01	02	
	係名	福祉医療係	電話	0192-44-1030										年度～年度
			内線	7185										
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				※全体計画欄の総投入量を記入										
地域住民の医療の確保と健康の保持増進を目的とする事業 主な業務は次のとおり①診療業務(9:00～17:00)②往診(随時)・訪問診療(計画により)業務③健康診断業務(個人、事業所健診) 事業費の内容は、人件費(医師、放射線技師、臨床検査技師、看護師3人、臨時看護師、事務職)が主であり、その他に医薬材料費(薬剤等)、施設維持管理費(光熱水費、警備委託等)、医事業務委託費などがある。				全体計画 (※期間限定複数年度のみ)										
				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金								
						都道府県支出金								
						地方債								
						その他								
						一般財源								
					人件費	事業費計(A)								
						0								
						正規職員従事人数								
						延べ業務時間								
						人件費計(B)								
						トータルコスト(A)+(B)								
						0								

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段 (主な活動)		名称	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		単位	
① 疾病患者に対する診療、指導。② 健康診断の実施。それを受けての事後指導。③ 訪問診療④ 往診 (患者から依頼を受け随時対応)。		ア 診療日数	
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		イ 往診・訪問診療件数	
前年度と同様		ウ	
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		(6) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
主に越喜来地区の住民		名称	
		単位	
		カ 行政区域内人口	
		キ	
		ク	
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
病気を治す。 病気を予防する。		名称	
		単位	
④ 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ 延べ患者数	
早期に適切な医療が受けられる。		シ 健康であると感じている人の割合	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳	千 円						
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円	2,900	1,450	2,500	1,100		
		その他	千 円	11,010	12,565	4,488	73,400	85,000	85,000
		一般財源	千 円	59,515	64,328	78,483	1,700	2,000	2,000
		事業費計 (A)	千 円	73,425	78,343	85,471	76,200	87,000	87,000
	人件費	正規職員従事人数	人	7	7	7	7	7	7
		延べ業務時間	時 間	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300
		人件費計 (B)	千 円	53,200	53,200	53,200	53,200	53,200	53,200
トータルコスト(A)+(B)		千 円	126,625	131,543	138,671	129,400	140,200	140,200	
⑤活動指標	ア	日	240	241	242	240	240	240	
	イ	件	258	302	295	270	260	260	
	ウ								
⑥対象指標	カ	人	3,265	3,191	3,107	3,023	2,950	2,900	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	人	14,186	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	
	シ	%	57.7	58.0	59.0	60.0	61.0	62.0	
	ス								

事務事業ID	0306	事務事業名	越喜来診療所運営事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 地域医療の確保と健康の保持増進を目的とし、昭和31年9月30日から三陸村国保直営越喜来診療所として開設された。その後、昭和42年4月1日から町制施行により三陸町国保越喜来診療所と改称し、平成13年11月15日、大船渡市との合併により大船渡市国民健康保険越喜来診療所と改称されている。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・平成8年度に診療所の改修と併せ無床化となる。また、平成13年5月から、土曜午前の診療を廃止し、水曜日の午後に診療を行っている。(それまでは土曜日の午前診療、水曜日の午後休診) ・患者数は1日平均、60人程度で推移している。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・医療の高度化、複雑化に伴い、一人当たりの診療所間が長くなったため、待ち時間も長くなったことから、予約制を取り入れてほしいとの要望がある。			

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] 越喜来地区にはほかに医療機関がないため統廃合の余地がない。 ☒ 他に手段がない ⇒ [理由]	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映

事務事業ID	0306	事務事業名	越喜来診療所運営事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果（2枚目と整合を図ること） <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 1日平均患者数は60人程度と昨年度同様安定した受診が見られ、地区住民への安定的かつ安全な医療の提供を行った。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性（改革改善案）・・・複数選択可（ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可） ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善（ ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善 ） （上記方向性に対する具体的な内容） ・今後も越喜来地区における医療機関の進出が難しいと考えられるため、継続して事業実施していく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	国保年金課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準（1次評価の記述内容を読んだ段階で選択） ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準（2次評価を行った後に総合的に判断して選択） ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている（事務事業の問題点、課題が認識されてない） ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている（事務事業の問題点、課題が認識されている）		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 旧大船渡市の地域とのバランスを欠く面もあるが、必要な事業である。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性（改革改善案）・・・複数選択可（ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可） ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善（ ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善 ） （上記方向性に対する具体的な内容） 必要不可欠な事業であり、次年度以降も継続する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
